

施設・地域における障害者虐待防止チェックリスト

B：虐待防止に関する取り組みの推進・改善シート

1 チェックリストにより、取り組みが進んでいない事項や更に改善する必要のある事項の原因や課題

- ①ボランティアの受け入れができていない。
- ②地域における虐待防止において関わりが薄く、意見交換などができていない。
- ③外部からチェック体制ができてない。
- ④虐待を受けた支援に関するマニュアル等作成していない。
- ⑤職員間のコミュニケーションが図れていない。
- ⑥成年後見制度の利用支援を行っていない。

2 1の解決・改善に向けて必要な対応や工夫、現時点で対応が困難である場合にはその理由

- ①ボランティアの受け入れを進める。
- ②地域の研修、情報交換会等に積極的に参加する。
- ③第三者評価事業を計画していく。
- ④虐待の防止、早期発見、対応についてマニュアルの見直しを行う。
- ⑤業務場において報告、連絡、相談などの徹底と、目標管理制度システムを活用する。
- ⑥成年後見制度について研修し必要とする利用者への支援を確立する。

4 解決・改善状況の評価と更に取り組みを要する課題の整理

- ①職員一人ひとりの身体拘束等の適正化、虐待防止の意識向上の必要性。
 - ②外部との交流、ボランティアの受入れについて検討する。
 - ③第三者評価に向けての取組み。
- 今年度、研修を5回行うことができた。
また、虐待防止チェックリストをとおして、職員の認識、意識の違いに気づいた。
必要な部分に焦点を当て対応していくことが必要。

3 解決・改善に向けて必要な対応、工夫の具体的な進め方（計画）、目標とする期間

- ①ボランティアの必要な場面を検討し受入れ体制を整備する。広報『微笑』R8.4月号に募集を掲載する。
- ②研修、情報交換会などに参加できるよう時間の確保、シフト調整を検討する。
- ③第三者評価の実施に向けて、R8.4月事業推進会議にて協議する。
- ④R8.4月マニュアル更新に向け見直しを行う。
- ⑤報連相の再確認、研修を計画する。
- ⑥成年後見制度の内容について共有する。